

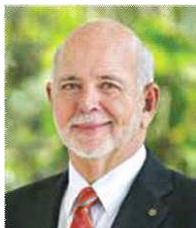


3月のロータリーレートは1ドル=110円 「My Rotary登録状況：11/39≒28%、目標50%」

今年度のテーマ



インスピレーションになる



2018-19年度RI 会長
バリー・ラシン氏
East Nassauロータリークラブ
バハマ (ニュープロビデンス島)



2018-19年度ガバナー
若林啓介氏 (富山RC)



例会便り

第 953 回
3月7日
ホテル日航金沢 5 F
例会出席 20/39 51.28 %
助田忠弘 S.A.A. 2月例会出席率 67.15 %

点 鐘

1. 国歌 『君が代』
2. ロータリーソング 『奉仕の理想』
3. 四つのテスト
4. 武藤清秀会長挨拶

《食 事》

5. ゲスト・ビジターのご紹介

(1) ゲスト

- ・〔卓話者〕NHK金沢放送局記者 吉田麻由 (よしだ まゆ) 様
- ・RI2610地区 石川第一分区B ガバナー補佐 永瀬喜子 (ながせ よしこ) 様

(2) ビジター

- ・下関西ロータリークラブ 林 一徳 (はやし かずのり) 様
出張のためはるばる下関からきまして、夜間の例会だということを調べまして今日はお邪魔しました。
- ・横浜南ロータリークラブ 高作 義明 (たかさく よしあき) 様
以前にハイディワイナリーの会長としてメイクアップしましたが今はITの仕事に専念しております。横浜南RCには弁護士がお二人いまして刑事裁判を傍聴して意見を交わし合う「傍聴例会」を行っています。

6. 今月の誕生者の紹介

6日 江守巧会員 11日 表靖子会員 20日 竹田敬一郎会員

7. 幹事報告・委員会報告

〔幹事報告〕

- 井上正雄幹事：①来週の例会場は3F「孔雀の間」に変更となります。
②来週の例会後に理事会を行いますので、ご出欠を事務局までお知らせください。

〔委員会報告〕

布施クラブ管理運営委員長：皆様のお席にアンケート用紙をおきました。それに基づいて説明させていただきます。炉辺会合第2回を4月18日午後7時（グループにより時間変動あり）に開催いたします。3つのグループに分けて行いますので希望のグループにご記

名いただき、また希望のテーマがあればご記入ください。この用紙はお持ち帰りになり FAXを送付いただいても結構です。よろしく願いいたします。

江守道子会員：ロータリーとは関係のないことですが、私の友人が困ってしまして署名のご協力をお願いします。

8. ニコニコBOX紹介 ¥7,000- 本年度¥420,100- 残高¥4,451,265-

永瀬喜子ガバナー補佐：G補佐として3度目の訪問です。皆様のパワーをしっかりといただいていると思います！あと一度おじゃまする義務があります。まさにおじゃまでしょうがよろしく願いいたします。

武藤清秀会長：皆さん今晚は。一昨日ネパールより戻りました。林一徳様、高作義明様ようこそいらっしやいました。吉田麻由様 卓話楽しみにしています。

大路孝之会員：皆さんこんばんは。吉田様、本日の卓話よろしく願いします。

9. 武藤会長より「水タンク設置事業」ネパールからの報告

10. 卓話

NHK金沢放送局記者 吉田麻由 様

「これからの地方創生に求められること」

紹介者：武藤会長

〔略歴〕

1993年1月 神戸生まれ

2015年 大阪大学外国語学部卒

2015年 NHKに記者として入局 1ヶ月間の研修後、金沢局配属に

警察取材、小松報道室を経て現在は選挙担当。

11. 質疑応答

12. 謝辞・謝礼

点 鐘

パストガバナーからの手紙 380回 2019. 3. 14 炭谷 亮一
地球温暖化とエネルギーミックス



はじめに「エネルギーミックス」

2015年12月にパリで行われたIPCC（気候温暖化防止の為の政府間パネル）でCOP21パリ協定が合意された。本協定はその枠組みが京都議定書と異なり、先進国にのみ温室効果ガス排出削減の目標を定めたものではなく、途上国も温室効果ガス削減目標を自己提案するボトムアップ型の提案目標となっている。ほぼ全地球的な取り組みとなった事が画期的な協定と言える。

「パリ協定」で地球の平均気温を産業革命以前に比べ2度未満に「十分低く」抑えることを誓った。そしてパリ協定は実質的に大気からCO₂を取り除く方法が発見されることを前提にしている。現実的に気温上昇を2度未満にとどめるほど大気中の温暖化ガスを減らすには排出量だけでは追いつかないからだ。大気中のCO₂の排出（除去）に関する公式な議論が始まらない限り、気候変動の弊害を抑えるというパリ協定が順守出来ないことは確実と言える。CO₂の大気中からの排出（除去）については後章で述べることにする。

次にエネルギーミックスについてだが、以下の表は経年的に見たエネルギーミックスである。

2010年	火力発電61	再生10	原子力29
2013年	火力発電87		再生12 1
2015年	火力発電81		再生17 2
2030年	火力発電56	再生22～24	原子力20～22

経済産業省エネルギー基本計画 2015. 7

新たなエネルギー基本計画案のポイント

- 将来の原発新增設、建て替えの必要性を明記検討
- 原子力、地熱、石炭は「重要なベースロード電源」
- 再生可能エネルギー導入を加速
- パリ協定踏まえ温暖化ガス削減に注力
- 核燃料サイクルは引き続き推進

日本はパリ協定において2013年比CO₂排出量を2030年までに26%削減すると約束した。

ある意味「エネルギーミックス」がうまくいかなかった、またはうまく機能しなかった典型的な一例をあげてエネルギーミックスの重要性を論じたいと思う。

2018年9月6日に北海道胆振東部地震が発生した。専門家の間で心配されていたブラックアウト（全道停電）がおこってしまった。二日間は完全停電であり、札幌のあの夜の名所すすき野も真っ暗で、人通りもなく別世界へトリップしたようだったと知人は話してくれた。苫東石炭火力発電所1号機の運転停止によって需給バランスが崩れ、過負荷による送電設備の損傷を防ぐためにドミノ倒しのように全道の火力発電所、水力発電所が送電線系統から切り離され、本州からの応援の海底ケーブルでの受電も残念ながら中止せざるを得なかった。なぜなら北海道と本州とを結ぶ送電線は直流送電の為、道内火力が動いていないと交流に変換できない。

これまでは北海道は福島事故までは原子力、火力、水力そして再生可能エネルギーとうまくバランスを取ってきたと言える。まず第1点は泊原発の審査が遅々として進まなかったことが一番の原因である。

この為北海道全域に電力供給されるまでは、2日間の全道ブラックアウトも含めてじつに13日間道民は不自由な生活を強いられた。実態は行政・病院・乳業・物流・スーパーの販売などあらゆる機能が停止した。北海道民の皆様にはまことに失礼ながら、電気の重要性を身に染みてよく理解されたことと推察できる。最低限人間は食料とエネルギー（電気）なしでは生きていけないことを。

北海道庁の集計によれば今までのところ被害額は一カ月で約2000億円。非常電源を持っている役所も病院でも数時間がせいぜいで、結局病院では外来の中止、もちろん水も電気も使えず、電力のありがたみが身に染みたとの声に、間接的ながら電力の重要性を再認識した道民は多かっただろうと想像できる。

本来北海道は水力発電、火力発電、原子力発電、再生可能エネルギー（そのうえ風力、太陽光発電）も広い土地を大いに利用しているのに、長く原発が停止しているうえに苫東火力発電所の発電量（出力165万kw）が飛びぬけて大量な為、2番手の奈井江火力発電所（出力35万kw）と出力差はあまりにも大きい。しかも2～4の石油火力発電所はあるにはあるが、石炭火力に比べてあまりにもコストが高い為発電を抑えていた（長期停止状態）。

ブラックアウトの原因は苫東発電所に一極集中し、バランスのとれたエネルギーミックスによる発電を行われなかったことに帰する。今後は泊原子力発電所と苫東石炭火力発電所がベースロード発電として早く「2極体制」への回帰が望まれる。

エネルギーミックスが上手に行われていない場合にはある地域においてブラックアウトがおこる可能

性は高い。そして現在の日本のエネルギー自給率はたったの6%である。もしこの状態で外国から燃料となる資源が輸入できなくなった場合、多少備蓄があるとはいえ、まさにそうならば日本はエネルギー危機となり、日本全体がパニックに陥る(もちろん1970年代の2度のオイルショックを経験した日本人は多々存在する)のは必然であり、まさに日本の危機と言える。

これら輸入資源に頼らない自力発電の可能性そして海外から資源を輸入する場合、安全・安定供給とコスト削減の可能性に言及を試みる。

「1つのカゴにすべての卵を入れるな」の格言があるように、ベストなエネルギーミックスを行い、日本国民の生活の安定と産業発展・維持出来る方法を模索する。

最後にエネルギーミックスのベースになるのは以下である。

- ① 経済的に見合うコスト
- ② 国益に帰すること
- ③ 安定供給の確保
- ④ 安全の確保 (エネルギーセキュリティー)
- ⑤ 自給率を高めること (2016年度8.3%と低い)
- ⑥ 環境への配慮

エネルギーミックスは我国の盛衰とさらには存亡のかかる重大案件と言える。

クラブ例会予定

- 3/14 岩本歩弓様卓話／理事会
- 3/21 休会
- 3/28 クラブフォーラム
- 4/4 金沢先進医学センター
富田勝郎様卓話／理事会
- 4/11 金沢北RCとの合同例会
- 4/18 第2回炉辺会合
- 4/25 オリエンテーション#3
宮永満祐美会員

2018～19理事役員名

2018.7.1現在

役員 (8名)

会長 武藤清秀 会長外 大路孝之 副会長 江守道子 幹事 井上正雄
副幹事 東海林也令子 会計 西村邦雄 S. A. A. 助田忠弘 直前会長 上杉輝子
理事 (14名)

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

委員会	クラブ管理 運営委員会	会員組織 委員会	広報委員会	奉仕プロジェクト委員会			
委員長	布施美枝子	表 靖子	上田喜之	野村礼子			
副委員長	浦田 哲郎	宮永満祐美	矢来正和	魏 賢任			
委員	①親睦	①会員増強	①広報	①職業奉仕	②社会奉仕	③国際奉仕	④青少年奉仕
	浦田哲郎 後出博敏	東海林也令子 井口千夏 上杉輝子	高田重男 辰巳クミ	谷伊津子 大沼俊昭 相良光貞 道端勝太	土田初子 北村信一 吉田昭生	R財団その他 岩倉舟伊智 炭谷亮一 大平政樹	国際青少年交換 江守道子 金 沂秀
	②例会	②オリエンテーション	②ローター情報			米山奨学会	
	例会	宮永満祐美 野城 勲	水野陽子 竹田敏一郎			藤間勘菊 魏 賢任	
	SAA		③会報				
	助田忠弘 衣川昭浩		矢来正和 石丸幹夫 柿木健雄				
	ココロ						
	木下慎知子 小浦勇一 柴田未来						

例会場 ホテル日航金沢5F〒920-0853金沢市本町2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日19:00
 事務室 〒920-0852金沢市此花町3-2 ライブ1ビル2F T076-262-2211 F076-262-2241
 E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページURL http://100rc.jp/
 事務局執務時間 月火水金10:00～16:00 木曜例会日16:00～ 休日(土日祝日)